

平成24年度 実施計画作成・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	税務課	記入者名	川平 信二	内線	117	
事務事業名	未評価家屋等調査事業		事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 24 年度				
総合計画上の 位置付け	基本方針	健全で効率的な行政財政運営を推進するまちづくり						
	施策	健全な財政運営の確保						
	細施策	財源の確保						
根拠法令・条例、関連計画等	地方自治法、地方税法、出水市税条例、出水市手数料条例、国土調査法							
予算細々目名				会計	款	項	目	細目
未評価家屋等調査事業費				01	02	02	01	02

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

平成21年度から平成23年度までの調査により、未評価家屋・不一致家屋を解消し、それに伴った土地の地目等の見直しを行い、公平・適正な賦課を行う。なお平成23年度で終了の予定であったが、平成24年度までの延長を行っている。

3 事務事業の概要

H23年度の事業概要	H24年度の 事業概要・計画	H25年度の事業計画	H26年度の事業計画
高尾野地域の基礎調査を終了件数9,561件 (内訳) 不一致家屋 1,759件 非課税該当 625件 対象外 3,616件 償却資産該当 1,076件 課税誤り 196件 小計 7,272件 要調査 1,161件 不明 1,128件 小計 2,289件	要調査・不明2,289件の現地調査を行い、課税対象家屋であれば、家屋評価を実施し、平成25年度からの課税を行う。	なし	なし

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
納税者の所有する家屋	誤って課税されている家屋及び課税漏れの家屋の調査を行う。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
誤って課税されている家屋（不一致家屋）及び課税漏れの家屋（未評価家屋）の調査を行い、公平・適正な課税を行うことにより「健全な財政運営の確保」を図る。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	最終目標	
							年度	目標値
活動指標	① 航空写真と家屋の配置図を突き合わせ不一致・未評価家屋を解消する。	件	7,272	2,289			24	18,949
	②							
成果指標	① 不適正な家屋賦課の解消	%	71%	100%			24	100%
	②							

※ 活動指標…事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標…施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 もともと定期的実施する必要があり、今回職員を増員し、期限を定めて集中的に行っている事業であり、データも平成20年度の航空写真をもとに調査を行っている。
	<input type="checkbox"/> ある	
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由 課税データと実際の家屋の状況が合致しないまま賦課される物件が存在してしまい、固定資産税の減収、納税者との信頼関係が失墜する可能性がある。
	<input type="checkbox"/> ない	
	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか (成果指標がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由 平成23年度で終了予定の事業であり、平成24年度に延長して実施している状況である。
その他	類似事業の有無と統合の可能性はないですか(市以外の取組含む)	
	<input type="checkbox"/> ない	理由 調査に要する基礎資料作成を総合固定資産管理事業に統合することによりコスト削減を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	
	市と受益者との負担割合は妥当ですか(受益者負担がある場合に記入してください)	
その他	<input type="checkbox"/> はい	理由 本事業には該当しない。
	<input type="checkbox"/> いいえ	
	他の市町村では実施している事業ですか(県内の他市の状況等を具体的に記入してください)	
	平成21年度に航空写真と家屋の配置図データを総合固定資産管理システムで作成し、調査対象の図面を作成することができたので今回調査を実施している。同様のシステムを構築している市町村があればできると思われるが、通常は全棟調査で実施するのが基本であり、現在実施中の市町村の情報はない。	

3 今後の方向性、改善案等(一次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成24年度で終了する予定であり、今後も評価漏れ家屋等については取り組んでいく必要がある。

4 今後の方向性、改善案等(二次評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	平成24年度で事業が完了することから、廃止とする。 なお、今後については、通常業務で適正・公平な課税となるように有効的な手段を講ずること。

5 今後の方向性、改善案等(最終評価)

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に廃止とする。